

都市再生整備計画 事後評価シート  
門司港地区

平成27年3月

福岡県北九州市

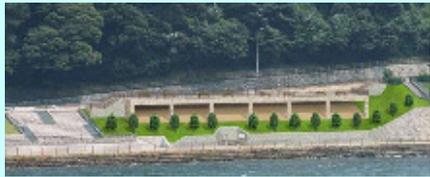
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	北九州市		地区名		門司港地区			面積	261ha
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費		1,018百万円	国費率	0.4		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路: 門司東本町線、老松町長谷1号線、公園: 和布刈公園の整備 地域生活基盤施設: 門司第1船だまり緑地整備、和布刈公園案内標識整備 高質空間形成施設: レトロ観光列車駅周辺整備、門司港レトロ通り・ひろばの愛称案内表示整備 高次都市施設: 古城市民サンプレーターの整備、和布刈観光交流センターの整備 既存建築物活用事業: 旧JR本社ビルの活用、旧関門連絡線地下通路の活用									
		提案事業	地域創造支援事業: レトロ観光列車の運行、門司市民会館建物耐震補強診断及び耐震補強、旧三宜楼の活用、旧大阪商船の活用、ランニングステーション整備 まちづくり活動推進事業: まちづくり活動運営支援、トランジット(周回)バス運行支援、レンタルサイクル運行支援、リノベーション支援、オープンカフェ・イベント支援、門司港の魅力を再発見し、内外に発信する広報支援									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高次都市施設: 和布刈観光交流センターの整備 既存建築物活用事業: 旧JR本社ビルの活用、旧関門連絡線地下通路の活用		事業計画の見直しにより削除				観光入込客数の指標に関係し、影響するため、数値目標を変更する。			
		提案事業	地域創造支援事業: 門司市民会館建物耐震補強診断及び耐震補強、旧三宜楼の活用、ランニングステーション整備		補助メニューの見直し、事業計画の見直しにより削除 旧三宜楼の活用は、基幹事業への変更により削除				指標、数値目標への影響は少ないため、指標及び数値目標は据え置く。			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路: 広石11号線、栄町錦町1号線、国道3号線 高質空間形成施設: 国道3号線バスレーンカラー舗装化等整備 既存建築物活用事業: 旧三宜楼の活用		道路: 交通アクセスの安全性や快適性の向上を図るため 高質空間形成施設: 路線バスの定時制を確保し、観光客の利便性を高めるため 既存建築物活用事業: 利用用途が明確になったため、提案事業から基幹事業へ変更				まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが、指標及び数値目標は据え置く。			
		提案事業	事業活用調査: 事業効果分析業務		事後評価の実施に関する調査を行うため、事業を追加				-			
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-				
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	観光入込客数	万人/年	194	H21	206	H26	210	○	あり	道路の整備によって、交通アクセスが改善し、観光客への利便性向上に貢献した。また、和布刈公園の整備により、ウォーキングやまち歩きなどで関門人道トンネル等の和布刈地区への集客が増加している。さらに、旧三宜楼の活用により、新しい観光拠点が整備されたことで観光客が増加したものと考えられる。	平成27年8月
	指標2	レトロ-和布刈地区間の回遊率	%	41.1	H21	49.3	H26	25.6	29.6	△	あり	第1期において、門司港レトロ地区から和布刈地区を周遊するレトロ観光列車及び観光用バスの運行により、目新しさもあって、両地区間の回遊性が大きく向上した。しかし、観光列車の利用客数が開業時に比べ落ち着いたため、基準年度に対して回遊率は低下したが、平成23年度のモニタリング以降は、和布刈公園の整備等により、まち歩きのブーム等と相まって、回遊率は回復傾向にある。
指標3	レトロ-旧市街地区間の回遊率	%	13.8	H21	16.5	H26	45.4	27.5	○	あり	旧三宜楼の活用、昭和レトロ館(現:モノはうす)、周辺道路の整備などにより、回遊率が増加したものと考えられる。	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
4) 定性的な効果発現状況	・門司港レトロ館(現:モノはうす)におけるワークショップ等により、参加した市民のまちづくりへの意欲が向上した。 ・まちづくり団体等の活動が活発であり、今後も持続的なまちづくりの展開が期待される。											
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
			都市再生整備計画に記載し、実施できた				-				-	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-				-	
	住民参加プロセス		「昭和レトロ館におけるワークショップ等」まちづくり活動運営支援				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地域住民・まちづくり団体と連携しながら、必要に応じて実施していく。	
持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		

## 様式2-2 地区の概要

### 門司港(福岡県北九州市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	年次	数値	年次	数値	年次
<b>大目標:</b> イベントの開催や和布刈地区、旧市街地への回遊性向上等により、観光振興を促進し、門司港地区の活性化を図る。 <b>目標1:</b> 滞在時間の長時間化を促進するソフトの仕組みづくりを行うとともに、和布刈地区における施設整備、新たな観光資源の発掘や魅力向上等により、更なる滞在時間の長時間化を進める。 <b>目標2:</b> 商店街の魅力向上で商店街への回遊性を高め、情報発信機能の充実により、門司港地区の活性化を図る。 <b>目標3:</b> 市民が集う拠点の整備や市民活動の支援により、更なる市民活動の活性化を進める。	観光入込客数	単位:万人/年	194	H21	206	H26	210	H26
	レトロ-和布刈地区間の回遊率	単位:%	41.1	H21	49.3	H26	29.6	H26
	レトロ-旧市街地区間の回遊率	単位:%	13.8	H21	16.5	H26	27.5	H26



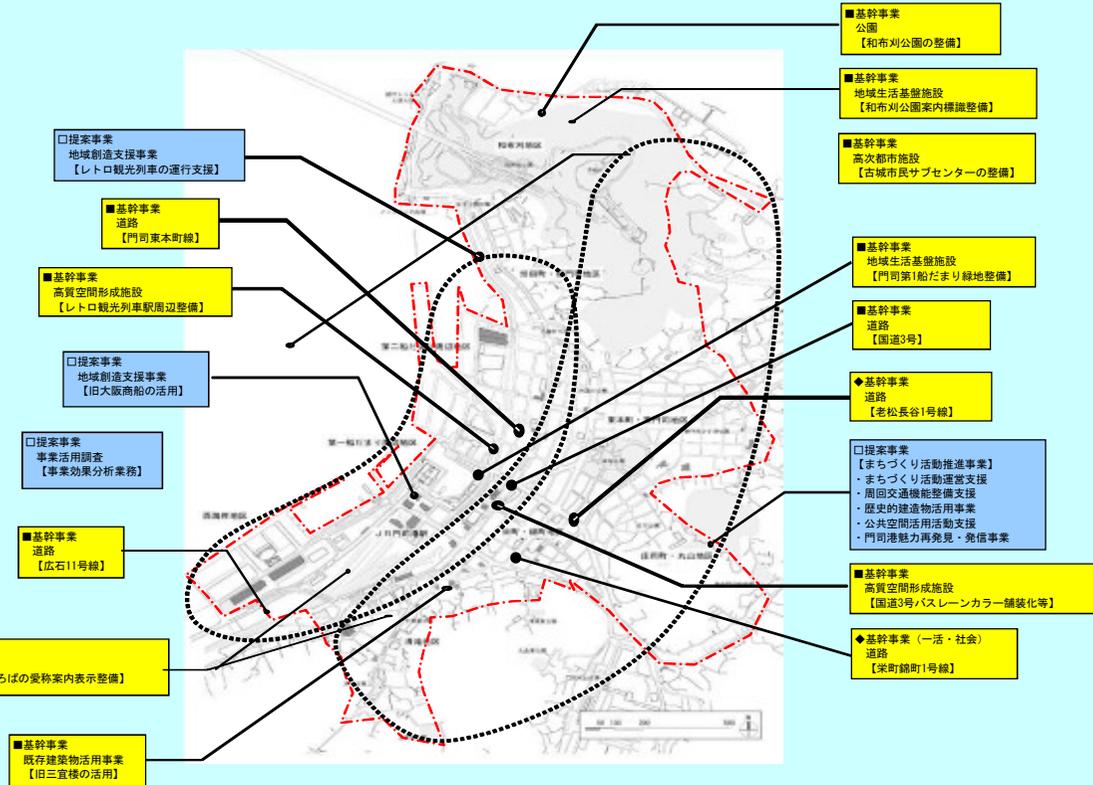
和布刈公園の整備



門司東本町線の整備  
(舗装修繕・バスレーン化)



国道3号線の整備  
(歩道舗装)



旧三宜楼の活用



まちづくり活動推進事業

凡例	
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	基幹事業
<span style="background-color: lightblue; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	提案事業
<span style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	関連事業

#### まちの課題の変化

- ・旧三宜楼の活用など、門司港レトロ地区を中心として、新たな観光資源が生まれ、魅力が向上した。
- ・和布刈公園の整備やレトロ観光列車の運行により、門司港レトロ地区-和布刈地区の回遊性は、定着してきている。
- ・一方、門司港レトロの代表的な歴史的建造物である門司港駅の保存修理工事(平成24年9月~平成30年3月(予定))が着手し、観光スポットが減少した。
- ・門司港地区における新たな芸術・文化を促進するため、来訪者の滞在時間の長時間化を図る施設整備を進める必要がある。
- ・新たな観光資源の発掘や魅力の向上には、地元市民や民間企業の積極的な参加が必要不可欠であり、これまで以上にまちづくりに関する取組みを進展させる必要がある。

#### 今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・既存施設の利活用による芸術・文化情報発信拠点の整備を行い、観光促進を図る。
- ・歴史的建造物や特徴的な意匠を持つ観光施設を活かした関門地区の景観づくりを進める。